

中岳第一火口底の様子



第一火口底の南側半分の領域は 5 月 3 日に 30–50 m ほど陥没した。降雨の影響もあり、6 月上旬からは 141 火孔周辺部で湯だまりの再形成が開始された（見かけ温度 50–60°C 程度）。141 火孔周囲に形成された火碎丘の浸食も進んでいる。